

町民との対話の推進

問 これからの町づくりを進めるには、多くの町民の意見を取り入れていくべきと考える。そこで、町民が町長と直接対話できるような日を設けてはどうか。

答 町民の方々からの行政に対するご意見やご提言は、町づくりにとって最も大切なことと認識しており、『町長への手紙』制度の導入や、『これからの我が町を語る会』と題した懇談会を開催し、様々な貴重なご意見を頂戴している。

今後も開かれた行政の一環としてこれらを継続していくが、会議の内容や運営方法に改善すべき点もあることから、これらと併せて検討したい。

スポーツ広場の活用

問 ふれあい坂田池公園西隣で建設中のスポーツ広場の完成後の活用について伺いたい。

答 平成4年度に事業着手したスポーツ広場も順調に工事が進んでおり、今年度中に野球場が完成する。引き続きテニスコート・管理棟・駐車場等を平成6年度までに、また、陸上競技場・ゲートボール場等を平成8年度までに建設する計画である。

完成後は、町民の皆様をはじめ、圏域住民のふれあいとスポ

ーツ活動の拠点の場として、スポーツやイベント等に大いに活用していただけるものと考えている。

また、中学校のグラウンドが手

狭であることから、一般の方々の利用を優先したなかで、生徒の部活動の場としても活用していく。



間もなく完成する野球場。今年1年は芝生の養生などで使用は、来年4月以降となります

町有バス

問 町有バスの運行状況について伺いたい。

答 町のバスには、中型バス1台と北清水地先で操業している昭和キャボット(株)から今年寄贈して頂いたマイクロバス1台があり、各種団体の視察研修や小中学校の部活動、公民館活動などに利用いただいている。昨年の運行日数は、近隣町村と比較すると若干少ないが、今後は更に有効に使用できるよう努めていきたい。

新年度予算と重点施策

問 戦後最悪の経済状況下における新年度予算の収入試算と重点施策について伺いたい。

答 新年度の予算編成については、現在その作業を進めているが、歳入の中でも大きなウエイトを占める町税については、バブル経済の崩壊に伴う不動産取引の減少や、給与所得者の所得の伸びの低下等により、増収が期待できないことから、来年度は今年度当初並の13億9千万円程度を見込ん

でいる。また、町税と共に歳入の大宗を占める地方交付税についても、その財源となる国税の落ち込みが見込まれることから、大きな伸びは期待できないため、町税と同様に今年度の当初予算並の14億5千万円程度を見込んでいる。

予算規模としては、今年度を若干下回る50億円程度になるものと思われるが、このような経済状況下から、多額の財源を必要とする事業や新規の事業については、投資効果や事業の必要性などを十分検討しながら取り組んでいく必要があると考えている。

いずれにしても、財源の不足分については、財政調整基金の取り崩しも考えながら各施策が推進できるよう予算の編成に努めて参りたい。

来年度の重点施策としては、スポーツ広場の整備・県道横芝下総線バイパス事業の推進・駅前広場の整備・下水道整備の基本計画の策定・教育環境の整備・福祉作業所の建設・集会施設の建設・その他、住民生活に密着した道路・排水路の整備や町の基幹産業である農業をはじめ、商業、工業の振興にも努力して参りたい。

少子化対策

問 厚生省は来年度から少子化